

模試・試験が終わって...

4月下旬に模擬試験も終わり、先日第1回の定期試験も終わりました。ほっとしている人も多いと思います。ひとまず勉強のことは忘れて、大いに楽しみましょう！...なんてこの通信に書くはずがありません。実際中学総体・高校総体も近いことですし、そちらの方も全力投球するのは当然です。悔いのないよう臨んで下さい。さて、勉強は試験が終わった後の反省をどう生かすかがポイントになります。今号では、入試の基礎としてA・推薦入試の概要と、先日行われた進路講演会などについて紹介していきます。

チャンスは多いほど良い！—AO・推薦入試—

入試形態で質問が多いのがA入試。「数学・英語などの試験(一般入試)を受けて受験するのは分かるけど、A・推薦は何をするの?」と思っている人は少なからずいるのではないのでしょうか。大学には、一般入試の他にA入試や推薦入試の枠を持っているところが沢山あります。目標とする進路に進むための手段は多く持っておいて決して損はありません。まずは知る事からです。

AO入試(アドミッションズ・オフィス入試)

出願者の人物像を学校側の求める学生像(アドミッション・ポリシー)と照らし合わせて合否を決める入試方法。

《選抜方法の例》書類審査・面接など

学業成績に加え、部活動の成績やボランティア活動の履歴、個人的な活動(伝統芸能の継承や芸術活動、芸能活動など)を、アピールすることができます。

AO入試はアメリカで生まれた入試制度で、入試を担当していた事務局が「アドミッション・オフィス(Admissions Office)」という名前であったことから、その頭文字をとって「AO入試」と呼ばれるようになったそうです。

(参考：さんぼう進学ネット・旺文社パスナビ)

A入試は8月ぐらいから出願がはじまり、その後試験が始まります。夏休みのオープンキャンパスの参加が必須となっている場合など、複数の日程で行われることもあります。大学によって多種多様なので、よく調べて下さい。

推薦入試

指定校推薦...大学から指定された特定の高校だけが、その大学に応募できる。本校でも指定校推薦の枠をもらった大学多数。募集人員は1校あたり1~2名程度。

公募制推薦...どこの高校からも大学に応募できる。

一般推薦入試...学力が条件 特別推薦...スポーツ・芸術・資格などが条件
《選抜方法の例》書類審査・面接・小論文など

何が必要か。

広く言うと、「積極的に自分磨き」をしていることが大切です。さまざまな活動に参加し、さまざまなことを学んで下さい。そしてそれを自分の言葉で語れるようになって下さい。例えば、部活動において与えられた練習だけを何も考えずにする、ボランティア活動に参加はするものただみんなが行くから意義も考えずに行く、ではいけないのです。留学するにしても、コンテストに参加するにしても、自らの目標を立て、考えることが大切です。これは中学生でも言えることです。常に自らアクションをかける姿勢を持って下さい。

また、新聞を読むなどして、社会に目を向けることです。知ること、自分がやるべきこと、やりたいことが見えてくるでしょう。もちろん面接で時事問題について聞かれることもあます。

学力も重要

いわゆる「一芸入試」という言葉があるように、何か素晴らしい力を持っている場合、学力をあまり見ない入試も多くありましたが、2011年度から文部科学省の方針で、「学力把握措置」が講じられるようになり、学校での評定を重視したり、センター試験を課したりする大学などが増えてきています。(例：センター試験を課す入試を「推薦」とするなど)

模擬試験・定期試験が終わったところで、今後の学習について考えている人も多いと思います。勉強方法は様々であり(今後紹介していきます)自分にあったものを探すわけですが、「自分にあつたものなんて分からない」と言いながら先へ進めないあなた、まずは**授業で先生が言っていることによ**〜く耳を傾けて下さい。やるべきことはやっていますか?予習・復習をしていますか?ここから始まるのだと思います。

自らアクションを起こそう!!

進路講演会

去る5月12日(土)PUP 進路講演会を行いました。本校保護者・卒業生保護者の方に普段聞くことのできない話をしていただき、非常に良かったと思います。以下に、生徒のみなさんの感想をいくつか紹介いたします。



多くの生徒が、興味・関心を持つことの大切さ、経験をすることの意味、沖縄への思いなどを感じ取ったようです。



【感想の一部】

講演中に気付いたことは、どんな仕事にも同じ気持ちがあるということです。なぜなら、話の中でやりがいの話になった時に、先生方が、「喜んでもらえるように」「社会の役に立てるように」など、同じ感じの言葉が出てきたので、先生方が、同じ気持ちを持っていると思いました。好きなことを職業にした方が長続きするし、楽しい人生を送ることができるのだろうなと感じました。沖縄に誇りを持つこと、他のところに行って沖縄を見ることも大切だと思いました。今日の講演会で、自分の将来について改めて考えることができました。大学進学の時、必ず悩むと思います。そんなときは、「好きこそ物の上手なれ」という先生方の言葉を思い出し、自分の本当に好きなこと、やりたいことを考えたらいいのかなと思いました。将来に役立つ話を聞いてよかったです。

お知らせ—模試結果の掲示について—

先日通知文でお伝えしたばかりですが、今年度から模擬試験の上位者や、大きく成績が上昇した生徒の掲示を行います。名前が載った人も、そうでない人も、自己を振り返り、向上しようとする意欲を持つことが大切です。励みにして学びを続けていきましょう。

掲示場所：3F 進路指導室掲示版